

令和7年7月末の交通事故の特徴

発生件数	10,154件（	－741件）
死者数	46人（	－8人）
負傷者数	12,859人（	－1,085人）
飲酒事故	56件（	－2件）

【発生件数】

- 高齢者関連事故は3,571件（－193件）で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は2,566件（－61件）で微減
- 歩行者関連事故は1,224件（－206件）で約1割減少
- 自転車関連事故は1,540件（－151件）で約1割減少
- こども関連事故は362件（－39件）で約1割減少

【死者数】

- 筑後地区が13人（＋2人）と増加
- 高齢者の死者数は26人（－6人）で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が16人（－6人）と高齢者の約6割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は9人（－7人）で約4割減少
- 歩行中死者数は22人（－3人）で全死者数の約5割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は56件（－2件）と微減
- 筑豊地区が7件（＋7件）と増加
- 郡部（町村）での発生が8件（＋5件）と増加
- 酒酔いが4件（＋3件）、基準以下が5件（＋3件）と増加
- 死者数は1人（±0人）と横ばい
- 6～8時が12件（＋3件）、4～6時が7件（＋3件）の順に多く発生

注 （ ）の数値は、前年同期比